

『一緒にさら砂作ったよ』 3歳児 10月 京西保育園

めっちゃさらさら!
ふわふわ!やわらかい。
ほっぺたみたい



どっちが
やわらかいかな?



いっしょにやりたい~!



エピソード

4歳児がさら砂でごちそうをつくる様子を見て A 児は「僕もさら砂作りたい」と側に居た保育者に言いに来る。保育者が「お姉ちゃんたちは、何でつくっているかな?」と聞くと「あれ!」と用具カゴに向かって走り、ふるいを手に取り戻って来た。

A児は、保育者と一緒にさら砂を作り始めると「横に振るの難しいな」と言いながら、一生懸命にふるいをふるっている。

A 児はふるいの中の粗い砂の感触を確かめると、「先生見て、ざらざらできた」と伝え、保育者が「下のお皿の中はどうなったかな?」と聞くと「わあ、めちゃさらさら、やわらかい、ほっぺたみたいやん」と喜び「もっとやってみるわ」といいながら夢中でさら砂をつくりつけた。

A 児の皿がさら砂でいっぱいになる様子を見て B 児、C児も「一緒にやりたい」と言い、A児が「これいるで」と、ふるいを見せた。

その後は、3人でさら砂をつくり、「どっちがやわらかいかな?」と、砂の感触を確かめ合ったり「白くなったね」と砂の変化を楽しんだりしていた。

子どもの育ちや学び

【幼児期において育みたい3つの資質能力】

知識及び技能の基礎

- 遊びを通して、ふるい(道具)の使い方を知る。
- 「さらさら」「やわらかい」「白くなった」などの感触や変化を言葉で表現する。
- 手先を使ってふるう動作を繰り返し、力加減を身につける。

思考力判断力表現力等の基礎

- 「どうやったらさらさらになるかな」と自分なりに考えたり、試したりする。
- 保育者の問いかけに自分が知っていることや、経験して得たことを基に考える。
- 「どっちが柔らかいかな」と比較、判断している。

保育者の思い

- 様々なこと・ものに興味をもったり、試したりして遊んで欲しい。
- 砂の感触や変化を通して、自然や素材に対する不思議さ、面白さに気づく体験を大切にしたい。
- 友達と一緒に遊ぶ中で、互いに教えあったり、様々な思いに共感し合ったりする心を育んで欲しい。
- 遊びを通して、「自分でできた」という達成感や自信を感じてほしい。

学びに向かう力人間性等

- 「一緒にやりたい」と思いを言葉で伝えながら友達と関りを広げる。
- 友達に「これでしたらいいよ」と教え、一緒にしたい思いを受け止める。
- 「もっとやってみたい」と意欲的に取り組む。